

平成二十年三月一日発行

# 会報

第四十号

社団法人・岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会

## 挨拶



理事長 下佐 征昭

会員の皆様、毎日をいかがお過ごしでしょうか。

生活の必需品である石油の値段が高騰し今冬の暖房費の出費が心配されます。しかしながら人間生活の維持と活動には化石燃料が必須です。その燃焼が大気中の二酸化炭素の濃度の高まりによって、地球の温暖化が問題となっています。その影響は海水面の上昇による土地水没の危機、風雨の変化による風水害、海流の強さや向きによる漁場の移動と消滅、人類を含めた動植物の生態系の異常など地球規模に様々なかたちで影響を及ぼしはじめております。

とにかく私たちは寒ければ暖かく過ごし、暑ければ涼しくなる生活を送り買い物には車を使用するなど生活そのものが化石燃料に依存している毎日です。

消費エネルギーについて、その影響を考え少しでも節約することを心がける生活を送らねばと思う昨今です。

さて、ここに平成19年度版の会報40号をお届けいたします。

相も変わらず業界を取り巻く問題は山積してはおりますが、その中でも本会の存続にかかわる大きな課題として、公益法人の抜本的制度改革があります。

平成18年6月に法律が公布され、いままでの社団法人、財団法人、中間法人はすべて廃止し新たな制度に移行を余儀なくされることとなりました。

官庁の影響を受けない公益性の有無や目的にかかわらず登記だけで簡単に法人格を取得できる一般法人と、公益事業を主たる目的にした組織で、県に設置する公益認定等審査委

- 1 -

員会の公益性の審査認定を受け税制上の恩恵が受けられる公益社団法人となるかの選択を迫られております。そのまま手続きをせずにいると解散したものとみなされ資本金等の財産は没収され、今までの岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会の組織解体につながります。平成20年から25年の間の経過措置終了までに官公庁の指導を仰ぎ、将来に悔いを残さないよう本会の行く末を見定め、適切な選択をしていきたいと思っておりますので皆様の忌憚のないご意見をお聞かせいただければ幸いです。

平成20年度も本会発展のため少しでも成果が得られますように会員一人ひとりのご支援とご協力を頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 2 -

# 目次

挨拶	理事長 下佐 征昭	1
平成19年度 庶務日誌	総務部 小野田サヨ子	4
平成19年度 通常総会花巻大会報告	総務部長 佐藤 明	6
全国師会長会議報告	理事長 下佐 征昭	8
全鍼師会代議員総会報告	副理事長 佐々木 実	9
東鍼連 平成19年度第2回理事会報告	理事長 下佐 征昭	10
東鍼連山形大会報告	代議員 佐々木 実	14
組織強化担当者報告	事業部組織強化担当 佐藤 明	15
平成19年度 保険部報告	保険部長 伊藤 庸一	17
第6回全鍼師会大会 in なにわ参加報告	佐藤 明	18
学術研修会報告	事業部長 山本 孝一	21
はり・きゅう・マッサージの日記念事業		21
日本東洋医学系物理療法学会第33回学術大会に参加して		
	盛岡師会 阿部 哲男	22
学術論文		
線維筋痛症の患者を治療してみた	盛岡師会 袖林 広正法	23
叙勲、県知事、全鍼師会、東鍼連各表彰者		28
年次別総会担当師会一覧		29
平成19年 国内、県内10大ニュース		30
各師会の活動状況及び会員の消息		31
編集後記	事業部長 山本 孝一	37

- 3 -

## 平成19年度 庶務日誌

(平成20年1月1日現在)

総務部 小野田 サヨ子

平成19年

- 4月 1日 北東北医療専門学校の入學式に下佐理事長出席す (ホテル東日本)
- 4月 7日 平成18年度監事監査会並びに平成19年度第1回拡大正副理事長会議開催 (視福会館)
- 4月22日 平成19年度第66回通常総会開催 (花巻温泉千秋閣)
- 4月23日 第6回保険部、事業部共催研修会開催 (同上)
- 4月27日 平成18年度事業報告書並びに平成19年度事業計画書等を県知事宛提出
- 5月20日～21日 平成19年度全鍼師会定期代議員会並びに通常会員総会、東鍼連平成18年度第3回理事会が開催され、佐々木副理事長出席 (新宿京王プラザホテル)

- 5月27日 県視福協大会へ祝電を送る。
- 6月 2日 第2回拡大正副理事長会議並びに第1回新法人設立委員会を開催  
(視福協会館)
- 6月23日 釜石師会会員減少により菊池守会員が花巻師会に編入。県9師会となる。
- 7月8日～9日 第6回全鍼師会大会 in なにわが開催され、佐藤総務部長が出席  
(シェラトン都ホテル大阪)
- 7月29日 平成19年度第1回常務理事会開催 (視福会館)
- 9月 2日 鍼灸マッサージの日の県事業として、ふれあいランド祭りに協賛し鍼灸  
マッサージ無料施術体験及び無免許者啓発チラシを配布す  
理事長、役員並びに盛岡、二戸師会員10名参加す
- 9月 5日 総務省公益法人行政改革推進室主催による新公益法人法に関する講演会  
に下佐理事長出席 (ホテルメトロポリタン盛岡)
- 9月9日～10日 第31回東鍼連学術大会並びに第61回東鍼連代議員総会山形大  
会が開催され、平成19年度第1回理事会、保険部長会議、青年女性部  
長会議には各々下佐理事長、伊藤部長と袖林会員、佐藤組織強化担当が  
出席し、代議員総会には佐々木副理事長、古舘会員が出席し、学術発表  
者は袖林会員であった (天童温泉「舞鶴荘」)
- 9月17日 全国保険担当者会議が開催され、伊藤保険部長出席 (新宿区立産業会館)

- 4 -

- 10月14日 三団体共催学術研修会開催 (盲学校)
- 10月14日～15日 日東医学会栃木大会が開催され、菅野、佐々木、阿部、村上の  
4会員が参加 (とちぎ福祉プラザ、ホテル東日本宇都宮)
- 10月28日 施術所機関登録名簿を全鍼師会本部へ送付
- 11月11日 全国都道府県師会長会議が開催され、下佐理事長出席  
(新宿京王プラザホテル)
- 11月17日～18日 第10回東鍼連秋田交流会が開催され、佐藤組織強化担当、伊  
藤保険部長、袖林会員が出席 (横手市 かんぼの宿横手)
- 11月28日 総務省公益法人行政改革推進室主催による新公益法人法に関する講演会  
に下佐、佐々木の正副理事長出席 (盛岡市 県民会館)
- 11月30日 久慈師会会員減少により三浦隆会員が二戸師会に編入。県8師会となる。
- 12月 1日 第3回拡大正副理事長会議並びに第2回新法人設立委員会開催  
(視福会館)
- 12月 2日 東鍼連平成19年度第2回理事会が開催され、下佐理事長が出席  
(仙台市 荒町市民センター)
- 12月13日 盛岡市役所より法人としての固定資産の有無についての調査に回答送付  
す
- 12月15日 盛岡市太田地区において地域住民に対する健康講座で下佐理事長講演す  
(盛岡市大田地区活動センター)

- 12月20日 県の新公益法人移行についてのアンケート調査に回答送付す  
平成20年
- 1月6日 第2回常務理事会開催（八幡平市 いこいの村岩手）
- 2月16日 第4回拡大正副理事長会議開催予定（視福会館）
- 3月16日 平成19年度通常理事会開催予定（労働福祉会館）

- 5 -

## 平成19年度 会員動向

項目	月 日	師会名	氏 名
入 会 者	6月23日	盛岡	三浦 義光
	8月5日	大船渡	戸羽 国博
	9月30日	盛岡	井口 力
退 会 者	4月30日	釜石	留畑 真
	6月23日	釜石	佐々木 至
			佐々木きみ子
			寄松 忠
	7月12日	久慈	古川 貞治
			玉沢 孝志
	10月28日	久慈	板橋 トク

## 平成19年度 通常総会花巻大会報告

総務部長 佐藤 明

第66回通常総会花巻大会が、平成19年4月22日（日）午後1時より、花巻温泉ホテル千秋閣末広の間に於いて開催されました。

総務部長が総合司会を担当し、開会に先立ち資格確認が行われ、会員総数108名中出席31名委任状58名、計89名の出席をいただき、定款に基づき総会は成立すると報告いたしました。

山本孝一筆頭副理事長の開会のことばがあり、下佐征昭理事長のあいさつをいただき、続いて来賓として、元本会役員を長く務められた鞠子栄氏、本会顧問の石川文治氏より激励のことばをいただきました。また、元役員の前ノ口富蔵氏（盛岡師会）の県医療功労知事表彰があり賞状の授与がなされました。

次に、議長を選出には、執行部一任の声を受け、古舘吉弘氏（二戸師会）を指名し、続いて議事録記名人並びに議事録署名人は、執行部が選任することで承認されたので、記録人には佐藤明氏（大船渡師会）、署名人には山本孝一氏（二戸師会）、小澤信男氏（奥州師

- 6 -

会)の2名を指名し委嘱されました。

議長が登壇し、会議の円滑な進行への協力要請がなされ、審議に入りました。

第1号議案の理事長会務報告では、(1)無免許者、無資格者への対応として、マッサージに関する検討委員会発足(全鍼師会)(2)医療過誤増加対策として、全鍼師会損害賠償保険110番の加入促進(3)公益法人概況基礎調査の県への報告(4)生活保護法による施術所登録を勧める(5)出張治療用の、駐車許可証(所轄警察署長許可)、駐車禁止除外車(公安委員会指定)の申請促進(全鍼師会)(6)無免許業者の電話帳掲載について、チェックの協力を(県内4ブロック版)(7)新公益法人移行について(8)全鍼師会大会と日東医学会が統一開催になる見込み(平成20年度)(9)新年度から法人県民税に森林環境税が追加(10)法人市民税について盛岡市長より通知あり、減免申請等市役所と折衝中。

以上、10項目にわたり報告されました。

第2号議案の各部報告では総務部、事業部及び組織強化担当者、保険部(共済)そして無資格対策特別委員会(佐々木金男委員長)まで、順次報告されました。

第3号議案の平成18年度収支計算ならびに監査報告では、会員数の減少により収入減となったが、経費節減につとめ次年度へ繰越金を計上することが出来たと報告されました。また、監事からは、会務や財務の運営執行状況を定款に則り監査したところ、2、3の口頭指導したほかは適正に処理されていると報告されました。

ここで、議長が、第1号議案から第3号議案まで一括採決したところ、起立採決の結果、賛成25名、委任状58名、棄権5名(議場外へ退席中)で承認されました。

第4号議案、平成19年度事業計画案について山本事業部長より、鍼灸マッサージの日事業を実施する等の説明と提案がなされました。

第5号議案、平成19年度予算案では佐々木財務部長から、会員数の減少から今年度も緊縮予算となると提案されました。

議長が、第4号議案、第5号議案を一括採決したところ、起立採決の結果、賛成27名、委任状58名、棄権3名(議場外へ退席中)で承認されました。

第6号議案、平成20年度通常総会開催予定については、佐藤総務部長より提案がされ、本部主催として開催し、日程、会場等詳細は未定であり、あらためて理事会に提案するとして、全会一致で承認されました。

- 7 -

第7号議案、新公益法人法による対応については、下佐理事長より、公益法人法改正の経緯と対応、及び今後の方針と取り組み方について説明がなされ、新法人設立委員会を設置し、今後5年間のうちに「公益社団法人」に移行するための情報収集や準備作業及び手続きを開始したいと提案されました。この時、盛岡師会の佐々木金男氏より定款、運営規定の改正も合わせて望む、という意見をいただきました。

これも起立採決の結果、賛成28名、委任状58名、棄権2名で承認されました。

第8号議案、その他の事項として、(1)釜石師会より質問状22項目朗読され、理事長の答弁として、正副理事長会議にて協議し検討する。(2)メールアドレスの新設・変更は、

情報提供のためにも県師会に連絡が欲しいこと、また、全鍼師会への届出も県師会を經由して行いたいと、執行部の佐々木実副理事長より連絡がなされました。(3) 広告制限緩和運動を望むとして、村上直人会員より意見が出されました。

以上、長時間の議事運営にあたった古舘議長より議長降壇のあいさつがあり、最後に佐々木実副理事長の「閉会のことば」により、通常総会の一切を終了しました。

午後6時30分からはお待ちかねの懇親会が梅の間において賑やかに開かれ、盛大のうちに終わり、二次会は部屋に戻り、遅くまで懇親を深めることが出来ました。

二日目は保険部と事業部の共催による研修会が行われ、参加会員も多く、二日間は有意義な内容となりました。師会長はじめ、会員皆様のご協力のお蔭で花巻大会は成功裡に締めくくることができました。また、特別ゲスト鞠子栄氏の来訪と激励に執行部一同あわせて感謝申し上げます。

## 全国師会長会議報告

理事長 下佐 征昭

11月11日(日)午前11時より東京、京王プラザホテルにおいて全師会48師会会長が出席(委任状出席は秋田、群馬、東京、愛知、鳥取、大分の6師会)と常任理事11名全員の出席で開催した。杉田会長の挨拶に続き議事に入る。資料は事前に提出議案も含め活字・点字を送付。

### 議 題

1. 本年度各部局の上期報告と下期計画について、資料の補足の後質疑が行われ、承認。

- 8 -

小澤視覚障害局長＝点字版斯界通信のタイトル欠落、配布の財務資料で数字の位取りが無なかった点、サイトワールド2007に参加等の報告がされた。

○質問・提案・要望では、医療法の付帯業務について、無資格問題、混合診療、後期高齢者医療制度とこれに係る申請用紙、変形性膝関節症の医療保険追加認定状況、公益法人制度改革、施術者(所)登録番号、会員管理等について活発な意見交換がされた。

高田学術局長＝鍼灸医療推進研究会は4団体で組織。普及啓発作業部会の報告で、マスメディアへのPRのため「ファクトブック」を作り、鍼灸に関心を持ってもらう基礎資料として配布した。研修作業部会は卒前教育・卒後研修・臨床実習について検討。研究作業部会は変形性膝関節症の臨床試験、翻訳本の編集・出版『エビデンスに基づく、変形性膝関節症の鍼灸医学』。来年の全鍼大会で公表する。マッサージ等将来検討会も提案をまとめ、発表して行く。

川村法制局長＝タイ・スパ・サービスには反対して行く。つぶすのはかなり難しいが、重要な問題として取り組んで行く。7団体も各省庁に要望し、動いている。

吉井保険局長＝追加事項、後期高齢者医療制度の新設で申請レセプトを統一したものを要望している。これには大きな意味合いが含まれている。

2. 来年度全鍼師会大会と日東医学会の合同開催について

北村事業局長＝全鍼師会大会 in 幕張として、来年10月11・12・13日の間で連結開催を決定。前半を全鍼大会、12日午後1時から日東医学会とする。参加申し込み受付等全鍼師会が窓口となり運営する。内容は日東医側と調整して進めて行くことになった。

### 3. 各県師会提出議案、要望等、その他について

保険問題、公益法人制度改革の公益事業とは、財団の生涯研修、19条問題、無資格対策、師会長会の代理者等を中心に活発な質疑応答がされ、身近な問題として関心が集まった。斯界通信164号と併せてお読みください。（全鍼師会記録から転載）

## 全鍼師会代議員総会報告

副理事長 佐々木 実

5月20日と21日の両日、東京新宿区「京王プラザホテル」で全鍼の代議員・会員・政治連盟・協同組合の各総会、それと第三回の東鍼連役員会があり出席して参りました。

- 9 -

代議員と会員総会では、執行部提案の18年度事業報告や決算、19年度の事業計画と予算は満場一致で承認されました。各県提出議題も含め多く論議されたのは大きく分けて三つ。保険取扱について、公益法人改正について、無免許対策について。

保険取扱では、償還払いが増えてきていることに対して全鍼が委任払いに戻すような運動をしてほしいという意見があり、「あはきの保険制度とも勘案しながらやっていく」という苦しい胸の内を吐露。

公益法人改革では各県とも戸惑いながらも、新制度に向けて情報収集と検討を続けていきたいとのことでした。

無免許対策では、昨年行った法改正署名運動のパワーを継続させ、広く国民に無免許者が多くいることを訴えていく。そのための一つとして、「あはきの日記念事業」を実施してほしい。

また、今年役員改選の年でもありましたが、杉田会長が無投票で当選となり、四期目を迎えることとなりました。

次に、政治連盟総会では「会員からの資金カンパをお願いする」との話があり、また、協同組合総会では、「新商品開発（たとえば着こなし易い白衣とか）を考え販売の目玉にしたい。会員からのアイデアを募集する」とのことでした。

最後に、東鍼連役員会ですが、平成20年度から大会のやり方を変える。案としては一日目に今までやっていた代議員総会を行い、午後からはいつもの通り。二日目は会員総会ということで30分定度前日の代議員会の報告を行い、その後は参加者全員が出席できる研修会を催す。これらは主催県で考え、なるべくあはき学校学生や一般公開で一般の人たちも参加できる催しを目指すこと。なお、これらのことは、今年の山形大会の代議員会で決定されます。

以上、「これからのあはき」をめぐる活発な論議が交わされた有意義な二日間でした。



# 東鍼連 平成19年度第2回理事会報告

理事長 下佐 征昭

日 時：平成19年12月2日（日） AM11:00～PM4:00

場 所：宮城県仙台市若林区荒町97-1 「仙台市荒町市民センター：4F会議室」

- 10 -

出席確認：梅宮 光男（福島県）・下佐 征昭（岩手県）・山田 幹夫（宮城県）  
松田 吉男（山形県）・小松田 泰（秋田県）・笹川 隆人（青森県）

事務局：小松田 泰事務局長・丸山 芳也財務局長

1. 会長挨拶 梅宮東鍼連会長
2. 議長選出 下佐理事（会長推薦）
3. 議事

## 1) 山形大会の総轄と反省

（会長）大変よくやって頂き流れも混乱も無く良かった。総会の出席人数が一寸少なかった。

（松田）開催地の天童支部は参加人数も多くご協力頂いたが、山形市支部の参加者が少なかった。参加者は107名でした。

## 2) 理事会並びに総会における懸案事項の処理

（議長）先の理事会や総会でも話し合いが持たれた政党支持か超党派かの件についてですが、宮城の山田理事からご説明願います。

（山田）全鍼師会は会費の中から一人当たり300円を政治連盟に繰入れている。その為に我々としては与党だけでなく、他の党ともパイプを繋ぐべきだと思います。又、それに対応して頂きたい。現に参議院では逆転している事も考慮した上での話しです。

（笹川）なかなか結論の出ない事ですが、政権政党を支持する事は会として大事な事と思います。

（山田）結論は出ないと思うが、全鍼はパーティーにも会費を使って出席している訳で、色々な政党に働き掛けが出来ると思います。今後の経過と成り行きからケースバイケースで超党派としてもやって頂きたい。

（議長）これについては最後のその他で東鍼連重要事業に繰入れていく事として、もう少し話し合いたいと思います。

## 3) 平成19年度 会務の中間報告

（小松田）平成19年度東鍼連事業について報告

## 4) 平成19年度 予算執行と会計中間報告

（丸山）保険担当者会議・組織強化担当者会議に開催日に併せて活動費としてそれぞれ支出しています。本日の会場費を除いて残金は196,663円となっています。

## 5) 秋田大会の進捗状況及び要項修正案について

（小松田）秋田県では来年度、秋田市の「さとみ温泉」で開催予定であります。

本日パンフレットを持参しましたのでご覧下さい。来年度は北海道の方々も

- 11 -

見えるようですので、アクセス面でこちらが良いと思っています。電車等の到着に併せバスを出して頂く事としたい。

先の理事会でも話し合われました学術発表を個々の発表よりテーマを絞って開催したいと思います。

(会長) 色々有りますが、今回は「腰痛症について」をテーマにどうでしょうか？

(議長) 腰痛症でどうでしょうか？異論ありませんか？

(理事) 異議なし。

(議長) では、各県より発表者を選出して秋田県にご報告願います。

### 秋田大会要項

会期 平成20年7月6日(日)～7日(月)

場所 秋田温泉 さとみ 〒010-0822 秋田市添川字境内川原142-1

TEL 018-833-7171

JR秋田駅から車で15分ほど、必要に応じシャトルバスでの送迎を検討中

秋田駅から市営バスあり秋田中央・秋田北ICから車で15分

#### プログラム案

10:30 代議員会(理事・事務局・各県代議員1名で構成)

保険担当者会議 青年女性部会議

11:30 代議員会へ各会議報告

13:00 開会式(来賓を迎え開催)

学術大会(生涯研修制度を導入する)

東鍼連学術発表

統一テーマを決めて各県より研究発表(秋田大会は「腰痛症」)

まずは保険対象疾患をテーマとして取り組む

研究発表の規格化(学会の様式を簡素化し内容の充実を図る)

発表時間は10～12分間、質疑については全体及び個別のいずれかに決定

学術講演(医療関係者による講演)

基調講演(全鍼師会会長講演)

17:00頃まで

2日目、9:00から全体フリートークを予定

(座長・パネリスト・全鍼師会会長など)

終了後、代議員会報告

大会企画は各県ごとに立案し理事会へ報告し、承認を受けること。

- 12 -

## 6) その他

「平成20年度 東鍼連重点事業」として

(2) —2の「無免許対策と手技療法師免許に対する対策」を削除し、「無免許・無資格対策」とする。

(3) を新たに追加し、文言を次のようにする。

「変動する社会情勢を踏まえ関係機関との協調」

理由は超党派問題もさる事ながら、新公益法人では政治活動に対する表現が×となるからである。

### 公益法人取得の経過について

(議長) 各県での公益社団法人への移行に対する対応についてご意見を聞きたい。

(笹川) 青森では定款改正委員会を設置した。

(梅宮) 福島では財務を含め、定款改正委員会を設置した。

(下佐) 岩手は推進委員会を立ち上げた。

(山田) 宮城は公益社団法人向けの準備として定款改正をしている。

(小松田) 秋田は来年の東鍼連大会終了後から本格的に定款改正へ向けてやりたい。

(松田) 山形は執行部が県に行って話しを伺っているところだ。

(議長) 東鍼連各師会としては公益社団法人をとる方向でやるという事ですね。

(理事) そうです。

(議長) 東鍼連としては公益社団法人取得に向け、情報交換していくものとします。

### 東鍼連秋田大会からの討議資料について

(小松田) 討議資料に長い間、単年度の議事録が掲載されていますが、必要不可と思います。

(笹川) 刷新する事で良いのでは？

(議長) それでは刷新する事でよろしいでしょうか？

(理事) 異議なし。

(議長) では会としては来年度より議事録なしで刷新する事と決定致します。

### 混合診療への対応について

(山田) 病院内での鍼灸治療をはじめ、事実上混合診療は解禁状態となっている。もはや反対をしても状況は変わらない。そこでこうした事情を踏まえながら我々がどう対応していくのか考えなくてはならないと思う。

(笹川) 我々業者の教育や医科との連携など研修の中で取り上げていく必要がある

(議長) 全鍼師会への要望ということで検討してはいかがか。

(理事) 異議なし。

(議長) 他になければこれで東鍼連平成19年度第2回理事会を閉会致します。

(東鍼連事務局作成議事録を抜粋)

## 東鍼連山形大会報告

代議員 佐々木 実

今年度の東鍼連大会は山形県天童温泉「天童グランドホテル舞鶴荘」で9月9日、10日の両日行われました。大会テーマは、「一期一会のこころ、施術の心」で、1日目は10時から師会長・保険部長・組織強化担当者のそれぞれの会議が行われました。午後1時から5時までは学術大会で、各県臨床体験発表が初めに行われました。これには本県から、袖林広正法さんが「線維筋痛症の患者を治療してみて」と題して発表され、聞く人たちの興味を誘っていました。

続いては「骨粗しょう症について」と題して済生会山形済世病院整形外科診療部長伊藤友一先生の講演がありました。私たちの仕事に直接かかわる事柄だけに講演後の質問も多く出されました。

最後は、全鍼師会会長の講演で中央情勢など話されました。話を伺っていると私たち三療を取り巻く状況は相変わらず大変だと再認識させられました。

6時半からの懇親会では古舘会員、佐藤会員がカラオケを披露。景品抽選などもあり大変盛り上がりました。

2日目は、9時から代議員総会で代議員として、私佐々木実と古舘吉弘の2名が出席。ここでは来年からの東鍼連大会の有り方が討議され、2日間とも学術研修を中心に出席した人たちが総てに参加できる方法が話し合われました。その結果、1日目の午前中に評議委員会という形で師会長会議と代議員総会を合わせたような会議を開き、その結果を2日目の始めに参加者に報告して、その後の時間は学術研修会に当てるということが満場一致で決まりました。また、来年の大会は7月に秋田県で行われることも確認されました。

決算・予算も滞りなく承認され、各県提出議題の中では、宮城県が「全鍼に政治運動をする時に自民党一辺倒だけではなく、超党派でということも考えるべき」ということが出されました。これは各県とも意見がまとまらず、来年の大会までの宿題として持ち帰りとなりました。

- 14 -

代議員総会は予定よりスムーズに進み、15分程早い10時45分閉会となりました。

なお、本県からは9名が参加（大会全体では100名余り）。天候にも恵まれ、有意義な大会でした。

## 組織強化担当者報告

事業部組織強化担当 佐藤 明

1. 第6回目となる保険部・事業部共催研修会を、平成19年4月23日（月）午前8：30～午前10：30、花巻温泉ホテル千秋閣において開催した。

研修内容は“すぐ役に立つ！鍼灸マッサージセミナー”—交通事故保険推進と介護予防事業について—と題し、30名の参加者があり好評をいただきました。

テーマは2つでした。

(1)「交通事故保険の取扱方法」ということで、電話応対方式によるテストケースの実演を、伊藤保険部長と佐藤組織強化担当が行った。

(2) 介護予防の今後の取り組み—DVDの放映と解説、そして実技として、経絡テストとストレッチに絞って実施した。

閉会式では、理事長の講評と参加者に修了証書を授与した。

2. 「第6回全鍼師会大会 in なにわ」において「組織強化担当者会議」が平成19年7月9日(月)開催された。—組織強化の確かなビジョン—というテーマで5つの議題について協議が行われた。

(1) 平成18年度の事業報告と19年度の事業計画

(2) 組織強化部と組織強化担当者とのネットワークについて

(3) 会員の減少と対策について

(4) 会員増強への取り組み—入会パンフレットの作成と会員管理システムの紹介

(5) 各県師会からの要望、提案

以上のような討議が行われた。

3. 「第6回全鍼師会大会 in なにわ」参加報告

平成19年7月8日～9日、大阪市天王寺区セラトン都ホテル大阪にて開催され、全国から600名の会員が参加し、大会テーマである「みんなで創ろう“確かなビジョン”」のもと、2日間のプログラムは折からの暑さもあって熱気あふれる盛り上がりを見せた。(以下、詳細は別項に記載)

4. 第61回東鍼連山形大会青年女性部長会議の報告

- 15 -

平成19年9月9日、天童市天童温泉舞鶴荘にて開催された

①第10回東鍼連秋田交流会開催要項について確認

②生涯研修制度申請について

各県ごとに申請登録すると、交流会の研修が単位認定されるので、取り組んではどうか(青森)

③全鍼師会組織強化部編集の「入会のしおり」を活用していく

5. 第10回東鍼連秋田交流会の報告

平成19年11月17日～18日、秋田県「かんぼの宿横手」で開催された。会員3名(佐藤明、伊藤庸一、袖林広正法)と北海道から5名を含む36名が出席した。

《研修テーマⅠ》

講演「介護保険、これからの動向」

講師—秋田県師会 丸山芳也先生

1 介護保険の基礎及び現状と鍼灸マッサージ師としての関連について

2 今後の展望としては、数年後に要支援1、2が自立に組入れられ地域支援事業となるらしいことから、この領域に参入可能である

3 すでに地域支援事業が神奈川、千葉、埼玉では実施が始まった自治体があり、先進事例として動向を参考にしつつ取り組むべきであろう

## 《研修テーマⅡ》

講演「保険取扱、未来予想図」

講師—秋田県師会 小松田泰先生

保険取扱の現状と問題点及びメリットを挙げながら説明された

- 1 保険取扱の伸び率はこの10年来、年15～20%となっている
- 2 経営上の柱であり、一日来院数が増やせるし、売上増ともなる
- 3 保険を使わないと無免許者と同一視されるので差別化になる
- 4 無免許業者のいいところを見習い取り入れてはどうか

## 《研修テーマⅢ》

講演「国体強化チームのトレーナー活動について」

講師—秋田県師会 石井孝幸先生

- 1 トレーナー活動は拘束時間が長くきついが、魅力とやりがいがある
- 2 トレーナー活動の文化が都市とでは違いがあり、地方でも根付かせたい
- 3 鍼は即効性があり、スポーツ外傷には有効と思う
- 4 故障の予防にはストレッチやトレーニングに重点をおいて指導している

- 16 -

## 《組織強化担当者会議の議題》

### ①次年度交流会開催について

- ・平成20年11月15・16日（土・日）、青森県開催が決定
- ・生涯学習認定を申請するので各県にも申請を勧めたい

### ②各県の組織強化事業の取り組みや情報交換

- ・山形県…経営素材ガイドブックCD-R版を活用し、治療院経営についての研修会を実施予定
- ・岩手県…保険部との共催で、交通事故保険取扱とDVDを使い介護予防に関する研修会を開催した

## 平成19年度 保険部報告

保険部長 伊藤 庸一

### 1. 県内師会の保険取り扱い状況

師会	金額	件数
盛岡	33,847,989	1,018
二戸	410,180	121
奥州	52,230,000	244
一関	122,860	32
大船渡	15,271,963	1,336
合計	101,882,992	2,751

## 2. 東北6県の保険取扱い状況

	金 額	件 数
青 森	39,938,000	
岩 手	101,882,000	2,751
宮 城	62,389,000	5,618
秋 田	49,014,000	1,373
山 形	95,151,000	3,768
福 島	44,251,000	7,535

## 3. 鍼灸マッサージ料金

本年は改定はありませんので、昨年同様の料金となります。

## 4. 全鍼師会大会 in なにわ「保険部会」

平成19年7月8日、シェラトン都ホテル大阪において分科会として開催。本県欠席。

## 5. 東鍼連山形大会 「保険担当者会議」

- 17 -

平成19年9月9日午前10時30分から12時まで、山形県の天童温泉グランドホテル舞鶴荘において開催された。本県から袖林先生も参加されました。

保険取扱い状況は宮城、秋田は昨年同様の取扱いであったが他4県は増えており、特に岩手は昨年6千万近い取扱いでしたが、本年は1億を超える取扱いとなっております。

今後の展望として、最近医師からの同意が得られにくくなってきた。不支給が出てきた、代理受給委任が認められなくなった等々の報告も出て厳しくなることも予測される。

## 6. 全国保険担当者会議

平成19年9月17日午後1時30分から、昨年と同じ会場である新宿区立産業会館において開催された。全国各師会の療養費取扱高とその推移について、更に現状と今後の展望について話があり、施術所登録制の導入、変形性膝関節症を同意症名に加える協議。

平成20年4月から実施される後期高齢者医療について、又、医療先行の記述が無くなった等の報告がなされた。

## 7. 地域健康づくり指導者研修会

今後、益々介護予防が重要になっていく中で、我々の職域拡大と地域貢献を目指した地域支援事業等に参画する為のノウハウを学び地域の指導者を育成するもので、平成19年9月23、24日の両日、12月23、24日の両日の2回に分け研修会が開催されました。本県欠席。

## 8. 東北ブロック保険部長会議

平成19年11月10日、午後7時からと11日午前9時から部長会議午後1時から

宮城県師会会員も参加しての研修会が開催された。本県欠席。

#### ○共済部報告

共済部では本年も使用済み鍼を回収しますので、総会時にご持参ください。尚、保健所より使用済み鍼の取り扱いについての調査の動きがあります。医療廃棄物ということをご理解のうえ適正に取り扱われるようお願いいたします。

## 第6回全鍼師会大会 in なにわ参加報告

佐藤 明

平成19年7月8日～9日、大阪市天王寺区シェラトン都ホテル大阪にて開催され、全国から600名の会員が参加し、大会テーマである「みんなで創ろう“確かなビジョン”」

- 18 -

のもと、2日間のプログラムは折からの暑さもあって熱気あふれる盛り上がりを見せた。

開会式には、大阪府副知事や大阪市長、衆参国會議員、府議、市議や医師会長また関係諸団体長など多数列席された。

開会式後の特別講演は、府県民公開講座として、市民学生を含む1,000名もの聴衆を集め、「食と健康～健康食品の有効かつ安全な利用のために～」と題して、大阪大学大学院医学系研究科生体機能補完医学講座教授の伊藤寿記先生の講演があり、健康食品を肯定的に捕らえ、医療と併用されている研究症例が報告されてとても興味深い内容でありました。

第一日目の分科会は10分科会ありました。一つ目に参加したのは、事業局と組織強化部による、「みんなで創る経営本」～経営アイテム活用講座～と、二つ目は、観光地部会の「温泉とはり・きゅう・マッサージで健康づくり」という分科会に出席させていただきました。

まず一つ目は、経営という観点を仕事に取り入れ、生かしていく方策が重要であるということから、情報や知識をプールし組織としての利点を発揮させ、役立つシステムやノウハウを再発信し、組織強化につなげようとする取り組みであり、まだ緒に付いたばかりではあるが、その成果はこれから全国の活動で形にしていく中で期待に応えることになるはずである。

次の二つ目の観光地部会ですが、今まで全鍼師会本部は医療保険や介護保険を活用し、時代に応じた経営の柱となるよう取り組んでいます。その間の時代の変化、とりわけバブル経済崩壊とともに観光地や温泉場において伝統的に行われていた施術が、従事者の高齢化や無免許者の増加、さらには多様化する温泉施設の増加による施術方式の多様化などから、衰退化が著しい状況です。そのような中、危機感を抱く有志が発足させた研究部会であり、危機から蘇らせるとともに、「温泉とはり・きゅう・マッサージで健康づくり」は温泉療法とはり・きゅう・マッサージ療法の融合で、健康づくりに貢献できるということを再認識しましたし、経営形態の一つの柱とすることも可能と思ひ、個人的テーマでもあるので出席させていただきました。



今大会の分科会の特色は鍼灸の実技があったほか、地元大阪の介護事業在宅ケアの先駆者でもある、西村久代さんの分科会などでは、立ち見が出るほどの盛況ぶりのようでした。

夜の懇親会は、多くの来賓を招いての盛大なもので、地元会員による「河内音頭」が延々

- 19 -

と数十分、唄と踊りが続き、またコーラスも披露され、手作りのアトラクションに大いに盛り上がった宴会となりました。

二日目の分科会は5つあり、三つ目の分科会は「組織強化担当者会議」～組織強化への確かなビジョン～に参加させていただきました。全国の意見交換や情報交換があり、新しい取り組みとしては、新規入会を呼びかけるパンフレットとして「入会のしおり」を作成し、各県ごとに活用できるようにつくりで、その原案が示されました。また、全国的には青年・女性部から少しずつ組織強化部への移行が進んでいる様子が報告されました。

この分科会で興味深かったのは、全国の会員減少傾向が強まる中、増加している県があり、滋賀は80%(90名から160名に増加)、埼玉は56%、山梨県は45%という伸び率でした。これらの要因は医療保険の導入指導であったようです。聞く所によれば、全鍼師会に加入しなければ保険取扱できないというような形を作っているようです。これなどは、大いに参考にしていきたいものです。その逆に九州の宮崎では、減少率84%という、230名から30名に落ち込むなど、その原因は皮肉にも保険取扱に関連するまとまりのない内紛ということを知りました。

今回の大会は15の分科会があったものの、3つの分科会にしか参加できなかったのですが、「保険局」「法制局」「学術局」「介護事業推進委員会」の資料を入手してきました。全分科会とも大変に貴重で、今後の活動に向けての示唆に富むものばかりで、ご馳走を目の前にして指をくわえているような姿に似て、とてももったいなく切ない思いで帰って来ました。

特にも、学術局に関しては、全国では19県師会が学術担当者を設置したそうですが、その数がさらに増え、生涯研修修了者が増えるよう本部がサポートする方針ということでした。これは、将来予想される免許の更新制対策を意図しているという面があり、来年度以降の日東医学会との合同開催も、この生涯研修を定着化させる弾みになりそうです。岩手でも「学術担当者の設置」と「生涯研修の取り組み」の準備を進める必要を感じてきました。

大会は最後に、全体のまとめがあり各分科会の内容報告に続き、山本副会長より総評があり、閉会式では次期開催地が千葉県を予定するとの発表があり日程の全てを終了した。

全体を通しての感想として、益々充実した大会になりつつあり、次期開催も日東医学会との合同開催を予定するなど、参加者数が増えていくと予想されるが、その運営面も役員はじめ会員のやる気と実行力で、かなり円滑化されていると感じました。正に「みんなで創ろう“確かなビジョン”」の大会テーマに相応しい2日間のプログラムだったと思います。

- 20 -

来年は千葉県です、出来たら三人以上出席できるようにして、それを県師会の活性化につなげて行きたいものだという思いを強くしました。

## 学術研修会報告

事業部長 山本 孝一

平成19年度、学術研修会は10月14日(日)盲学校において9時30分より例年のように本会と視福協、盲学校同窓会の3団体共催で開催されました。今回は参加者が50名弱とやや少なかった。

講師は西村道義先生で、さいたま市で日進理療センターを経営され繁盛しているようです。

演題は「治療院経営における販売促進とマッサージ鍼治療への低周波通電応用」でした。

先生は大学を卒業後、関西のテレビ局に勤務されておりましたが、失明し鍼灸マッサージの道に入ったそうです、サラリーマン時代のときに感じたことを治療院経営に生かしているということです。

午後は実技指導されました。

この講演を録音してありますのでご希望の方はご連絡ください。

## 「はり・きゅう・マッサージの日」記念事業

9月2日、盛岡市「ふれあいランド岩手」で「鍼・灸・マッサージ体験コーナー」を設け、「はり・きゅう・マッサージの日」記念事業の一つとして理事長はじめ10名参加し実施しました。あはき体験や治療、健康相談、「無資格者撲滅キャンペーン」のビラ配布等で多くの人に理解を求めました。

これまでの啓蒙や無免許撲滅運動が県民に少しずつ浸透していることもうかがえました。

また、整理券を配るほどの盛況で、100人余りを施術し終了したが、時間切れで全員をできなかったのが残念でした。

- 21 -

## 日本東洋医学系物理療法学会 第33回学術大会に参加して

盛岡師会 阿部 哲男

学会長の白嶋庸さん(鍼灸師、元理療科教員、東洋医学博士)の基調講演でも、増田進さん(岩手県沢内村の診療所長を経て宮古市田老病院長外科医師)の特別講演でも、永田勝太郎さん(静岡県浜松医科大学教授)の教育講演でも現代医学の目覚ましい進歩と医療制度の充実を評価しながら患者の訴えをITデータや画像データに照らし合わせ医療基準に沿って処置したり処方したりの現状医療現場には強い疑問があることをどの講演者も語

っていました。触診もなく、コミュニケーションも少なく、人間の健康を守り維持し命を守る観点から本当にこの状態で良いのだろうか。痛みや苦痛、体の各部の変形など人それぞれみんな訴え方も症状も程度度合も違うはずです。それをパターン化された基準に一括処理するのは非常に問題であると言っていました。

私もこの訴えにはうなずける所がありました。講演者はそういう中で、東洋医学の役割が非常に重視されるし、特に鍼灸マッサージにおいては手によって施される技術ゆえ、果たす役割も大きいので鍼灸マッサージの皆さんは研究心を持ちながら技術を高め、病んでいる人のために頑張ってもらいたいと訴え結んでいました。

## 星状神経節の鍼治療

講師は元宮城県師会長の渡辺一男さんでした。使用鍼はステンレス鍼で1寸6分2番鍼と限られていました。この刺鍼療法の目的は、頸椎7番の星状神経節に出入りする交感神経と血管の血行を良くし、アレルギー疾患特に花粉症やその他の鼻炎などによる症状を改善するところにあるとのことでした。

その他、顔面神経や三叉神経の異状による疾患、全身症状としてはアトピー皮膚炎などの症状改善をするそうで、いくつもの疾患がありました。

鎖骨と胸骨間接部から2横指外方に押手を取り、手指1指・2指でその部を摘み上げ頸動脈の搏動も確認しながら管鍼法で刺入し、横突起部を目差しながら刺入する。その後雀啄法を用い刺激を与える手法でした。

その他、その上部にある頸椎2番、3番の所にある上頸神経節にも同じ方法で行い、疾患・症状によって星状神経節を使うか上頸神経節を使うかを分けていました。そしてその部の他に、顔面の四白、陽白、手の曲池、合谷、腹部の水分、腰部の腎兪、足の三里、三

- 22 -

陰交などを適宜使用しながら、それらに置鍼しながら神経節療法を行うことでした。

私は、この講義を受け、聞いたり、一度実践で触って見せて貰っても、すぐ自分の治療法として用いるわけにはいかないと感じ、ある程度訓練し自分の手の感覚で確実なものにしないと患者さんには使えないと思いました。

2日間の学術大会の中で通して言われていたことは、西洋医学は局所を取り除いたり、異状発生部を薬物で攻撃したりの療法で瀉法に当たるし、東洋医学は身体への技術行為も語り合いながら施すゆえに精神・心の補いもするため補法に当たるということでした。これにも私は深くうなずくことができたし、ここで得た知識を今後の治療に生かしていきたいと思いました。ありがとうございました。

## 学術論文

### 線維筋痛症の患者を治療してみても

盛岡師会 袖林 広正法

<はじめに>

今回、生まれて初めて線維筋痛症の治療を試みました。最初は全然知らなかったのですが、インターネットや、知人の医師、知人の鍼灸師、などに教を請うたりしながら、手探りで、治療に挑んだことを、随筆的に書いてみたいと思います。

今回取り上げる患者は30歳女性で、まだ確定診断が下っていない状態です。整形外科と内科と治療院と三つ掛け持ちで現在も進行中なのです。

いろいろな人の治験発表をみていると、「こうやったら治った」という話が、多いですが、今回の私のものは「どうやったらいいかわからないが、こうやって何とか進んでいる」と、いうものです。治療方針については古典的な考え方でやっています。

患者さんを治療してみて意外なことをいろいろ感じました。線維筋痛症になりやすい人には特徴があるそうです。

- 23 -

最後に、どういう形で尻切れトンボになるかもわからないまま、現在も進行中です。何か一つでもみなさまの臨床に参考になれば幸いです。

### <線維筋痛症について>

私は、フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』を中心にインターネットで、線維筋痛症について調べてみました。

要約すると、身体に激しい痛みが生じる病気で、原因は不明で、通常の医者が行なう血液検査では異常が現れないし、CTスキャン、MRIを検査しても異常がなく、この病気が診断できる特別な検査は今の所ないそうです。治療法も確立されていなく、男性より女性が七倍と多く、中高年に発生率が高いと言われている。しばしば膠原病などの自己免疫疾患と併発する。

治療法は、非ステロイド性消炎鎮痛剤と抗不安薬とが処方されることが多いがステロイドはあまり利かない。

それからウィキペディアでは、大杉 君枝 (おおすぎ きみえ) という日本テレビの元アナウンサーが、平成19年2月2日の朝、育児休業中に線維筋痛症を苦しめ、東京都渋谷区にある自宅マンションから飛び降り自殺した。43歳という若さであったと載っており、患者はこのことにも刺激をうけている可能性があります。

### <症例>

\*患者 30歳 女性

\*初診 平成19年3月3日

最初朝の9時に一本の電話で「線維筋痛症の治療ができますか?」と問い合わせがありました。私は初めてですがやってみます。といったところから始まりました。

でも、患者は「今すぐしてほしい、痛くて我慢が出来ない。」といい、私は「今は予約で満杯だから夕方の6時から出来る」という答えに、患者は「じゃあ、今度。」と、日を改めて再び予約を入れ来院しました。

\*主訴

手、足、頭が痛いといい、線維筋痛症の説明文を私に渡し、これを読んで治療してほしいと言いました。ちなみに、その説明文は、神戸の鍼灸師の書いたものでインターネットでトップのところでヒットするものでした。

\*現病歴

一ヶ月くらい前から頭から全身にかけて痺れたり、痛くなってきた。

「どういう動作が一番痛いですか？」のインタビューには、「痛くないとき」と答えて下さいました。

- 24 -

「どういう動作が一番楽ですか？」のインタビューには、「布団に入って横になるとき」と答えて下さいました。

整形外科に行っていて、安定剤や鎮痛剤など6種類の薬を飲んでるそうです。

鍼はネットサーフィンをしていて、やってみたいと思い、最初の電話の日は、待てなくて違う治療院に行ったそうですが、治療師とのフィーリングが、今一つなので、私のところに来てみたそうです。

\*既往歴

3ヶ月前に三人目の出産をしたそうです。2年前に顔面麻痺を一ヶ月病院に通って治ったそうです。

\*望診

身長157cm 体重53kg 中肉中背、全体的には黄色で、顔はやや赤みがかっており、尺部は黄色と青が入っており、光沢がない。

\*聞診

声は低めで、ぼそっと話し、口数は少ない感じですが。五音、五声、五香はわかりかねました。

\*問診

食欲は、あまりないようです。甘いものや、しょっぱいものを好み、塩鮭が好物のようです。ただし、血圧があがった原因ではないかと疑っていました。

\*便通

一日一回、毎晩寝る前にセンナを服用しているそうです。ですから、出にくい可能性があるのです。

\*排尿

一日6回程度で、夜間尿は無く、良好だそうです。

\*睡眠

一日5時間程度で、熟睡は出来なく、痛みなどで夜に目が覚めると、なかなか寝られないし、目覚めは寝た気がしないそうです。そのため昼に仮眠まではいかないが、横になることがしばしばあるそうです。

\*その他

薬の服用は六種類で、ノイロトビン、ルボックス、ロルカム、デパス、リンラモサーだそうです。

血圧が170 mmHg / 100 mmHg あるので、降圧剤の服用を行きつけの整形外科医と相談するよう促しました。

\*切経

一番気にしている左前腕は小腸経の小海、三焦経の支溝で、左大腿部は梁丘、血海、下腿は飛陽、みな陽経であります。

背候診は、産後の影響にて愈血の至る所に硬結が診られました。

- 25 -

その他、左臀部、顔頬骨部、頭頂部から後頭部などにも痛みを訴えました。

\*腹診

神闕から中脘にかけての脾の見どころが冷たく、艶が無くもっとも虚で、続いて左上前腸骨棘から神闕にかけての肝の見どころが虚していました。

\*脈診

脈状診は沈遅虚、比較脈診は右関上の陰陽のバランスが悪く、左寸口沈めて虚がみられました。

\*病症の経絡的弁別及び治療方針

顔赤は心、寝た気がしないは肝、しょっぱいは肺、黄色、食欲は、甘いもの、便秘気味、昼横になりたいは脾とみえました。

主訴である筋線維は筋肉で虚痛とみえました。

腹は脾、脈は脾と肝です。

鍼は深く、長く、補うことにしました。

\*証決定

脾虚肝虚相剋としました。

\*適応側の判定

病巣は左、女は右を考慮し、右としました。

\*本治法

鍼1寸1番を用い、右太白、右大陵、左太衝を入念に補いました。

\*標治法

お腹は、中脘付近に補法を一本だけやりました。

痛みを強く訴える、左小海、左支溝、左梁丘、左血海、左飛陽に知熱灸を補的に一壮ずつ、背中の膈俞肝俞脾俞にも知熱灸を一壮ずつ行いました。

産後ということもあり、右三陰交に自宅で毎日朝と晩カマヤミニを一壮するよう、灸点をおろし、脈状が開いていないことを確認し、治療を終了しました。

患者に「どうですか」と、訪ねると、背中から腰にかけてとても暖かく、軽くなった感じがすると喜び、毎日来たいといわれましたが週二回のペースでお願いしますと促しました。

\*2回目 3月11日

前回の鍼の後はどうでしたかと、オープンクエスチョンでインタビューすると、「鍼をした日はいいけれど、夜になると又痛くなる」といわれました。

治療は前回同様に行い、その後も終始一貫して、基本的に治療法は変えませんでした。

- 26 -

整形外科医に血圧のことを相談したところ、安定剤との関係があり、様子を見ようと言われたそうですが、血圧が高いことが気になるというので、内科医を紹介しました。

\* 3回目以降

3月合計6回、4月7回、5月7回、6月は3回、基本的には同様に行いました。ただし、足が一番痛いとか、顔が一番痛いとか、日によって優先順位が変わるので、一番痛いところから、知熱灸を行いました。

内科医から降圧剤を処方されて、血圧は120/80程まで下がって頭痛は治まりました。

4月に入ってから、整形外科医から出されている安定剤のほかに精神安定剤を追加されました。そのため血圧は140/90位まで、またまた上昇しました。

それから痛みはまたまた強く訴えられましたが、鍼の治療方針は変更せず様子を見ました。

5月に入ると薬が馴染んできて痛みは和らいでいきました。

6月に入ると、「旦那の仕事が忙しくなり、来にくい」と言われ、3回だけきて後は来なくなってしまいました。

\* 反省と考察

回数を重ねても、まだ痛い。といつも言われました。しかし、私には、顔色は日に日に良くなっているふうにみられました。ですが、本当のところはわかりません。なぜならば、基本は本人がまだ痛いというのであれば、治っていないものと思います。

それから、非ステロイド剤などの鎮痛剤が、どの程度利いていたかもわかりません。

それから、鍼灸がどの程度効果があったかもわかりません。

三ヶ月鍼に通ったということを考慮すれば、全く御利益が無かったのではとも疑えません。患者は、整形外科だけでは気が治まらないから鍼もやって、血圧は内科医が処方してという三人プレーが最善だったかどうかともわかりません。

患者は「時々死にたいくらい痛くなる」と言ったときがありましたが、私には「可愛い赤ちゃんと子供を残して死んではいけない」としか言えませんでした。なぜなら、大杉君枝さんのようなになったら大変だと案じるだけでした。

肩こりとか腰痛のように沢山回数を重ねれば、ノウハウもいろいろわかってくるのですが、一症例では、どうにもなりません。

鍼師の先輩にも相談してみたところ「治療した直後はよくなるが、治るのは難しい」と言われていたので、鍼のアプローチの善し悪しも計りかねるところです。

< 終わりに >

発表申し込みや、要録提出段階では進行中でしたが、原稿作成段階では治療が中止

- 27 -

になりました。内科医から、助言されていた「物事に対してこうであるとか、こうでなければならない傾向」という部分では患者の行動、特に、予約、治療計画、降圧剤服用等、多々見受けられました。

治療が歯切れの悪い尻切れトンボのように、私の発表もそれに近い感じではあります。以上となります。

## 叙勲、県知事、全鍼師会、東鍼連各表彰者一覧

### 叙勲

従6位勲5等双光旭日章 菅野長治

勲5等双光旭日章 石川文治

### 黄綬褒章

松田惣次郎、佐藤種二、加藤敏勝

### 厚生大臣表彰

石川文治、菅野長治、北峰忠志、三沢五郎

### 県知事表彰

医療功労者 石川文治

県政功労者 菅野長治

保健功労賞 中村哲夫、山本孝一、猪ノ口富蔵

自立更生者 北峰忠志、大崎喜作、加藤敏勝

### 全鍼師会

40周年記念 菅野長治、石川文治、越本政男

50周年記念 北峰忠志、菊池安夫、三沢五郎、加藤敏勝

法人化10周年記念 猪ノ口富蔵

あはき施行50周年記念 中村哲夫

法人化20周年記念 下佐征昭(全鍼師会本部推薦)、鞠子栄、中村強真

法人化25周年記念 小沢信男

全鍼師会会長表彰 北峰忠志 菊池安夫 三沢五郎 加藤敏勝、山本孝一  
高橋等 阿部禎夫

### 東鍼連

40周年記念 石川文治、越本政男、下佐征昭、三沢五郎、菊池安夫、佐々木吉男

50周年記念 北峰忠志、加藤敏勝

60周年記念 山本孝一、小沢信男



## 年次別総会担当師会一覧

年 度	担 当 師 会	場 所
昭和40年	本 部	
昭和41年	本部(25周年)	県公会堂
昭和42年	北上和賀師会	瀬美温泉
昭和43年	気仙師会	海浜センター
昭和44年	本 部	
昭和45年	花巻師会	さなぶり荘
昭和46年	本部(30周年)	自治会館
昭和47年	宮古師会	観光ホテル
昭和48年	本 部	金属会館
昭和49年	宮古下閉伊師会	丸久ホテル
昭和50年	盛岡師会	鶯山荘
昭和51年	本 部	さくら会館
昭和52年	県北師会	ホテル金田一
昭和53年	本部法人設立	自治会館
昭和54年	本 部	さくら会館
昭和55年	胆江師会	翠明荘
昭和56年	本 部	さくら会館
昭和57年	釜石師会	波板海岸ホテル
昭和58年	本 部	さくら会館
昭和59年	一関師会	いつくし園
昭和60年	本 部	労働福祉会館
昭和61年	北上和賀師会	対 滝 閣
昭和62年	本 部	さくら会館
昭和63年	花巻師会	ホテル花巻
平成 元年	本 部	さくら会館
平成 2年	気仙師会	大船渡グランドホテル
平成 3年	本部(50周年)	さくら会館
平成 4年	宮古師会	ホテル舟木
平成 5年	本 部	さくら会館
平成 6年	久慈師会	ホテル福乃屋
平成 7年	本 部	第一ホテル
平成 8年	盛岡師会	八幡平ハイツ
平成 9年	本 部	労働福祉会館
平成10年	二戸師会	ホテル北陽荘
平成11年	本 部	労働福祉会館
平成12年	水沢師会	サンピア金ヶ崎
平成13年	本部(60周年)	労働福祉会館

平成14年	本 部	労働福祉会館
平成15年	釜石師会	宝来館
平成16年	本 部	労働福祉会館
平成17年	一関師会	サンルートホテル一関
平成18年	本 部	労働福祉会館
平成19年	花巻師会	ホテル千秋閣

- 29 -

## 東鍼連大会開催地一覧

日 程	場 所
昭和36年7月8日	盛岡駅前観光ビル
昭和42年7月1日	花巻 花盛館
昭和48年7月7日	八幡平ハイツ
昭和53年7月15日	花巻温泉 千秋閣
昭和60年7月6日	つなぎ温泉 愛真館
平成 3年7月7日	水沢 翠明荘
平成 9年7月6日	一関 溪泉閣
平成15年7月6日	つなぎ温泉 愛真館

## 平成19年 国内、県内10大ニュース

(岩手日報社)

### 国 内

- ① 参院選で自民党が歴史的惨敗。「ねじれ国会」に
- ② 安倍晋三首相が突然退陣。後任に福田康夫氏
- ③ 「消えた年金」で社保庁に対する怒り沸騰
- ④ 防衛整備疑惑で守屋武昌前防衛次官を逮捕
- ⑤ 「白い恋人」から船場吉兆まで止まらぬ食品偽装
- ⑥ 「政治と金」問題が噴出。松岡利勝農相が自殺
- ⑦ 震度6強の能登、中越沖地震。原発の安全性に疑問も
- ⑧ テロ特措法期限切れ。海自がインド洋撤収
- ⑨ 憲法改正手続きを定めた国民投票法が成立
- ⑩ 伊藤一長、長崎市長が射殺される

### 県 内

- ① 盛岡商が高校サッカー全国V
- ② 達曾氏が圧勝、新知事に
- ③ 朝ドラマ「どんと晴れ」人気呼ぶ
- ④ 増田氏が総務相就任

- ⑤ 岩手競馬存続も厳しい運営
- ⑥ 大雨で被害が相次ぐ
- ⑦ 石油製品値上がりが直撃
- ⑧ 仙人峠道路が開通
- ⑨ 衆参で民主3人当選
- ⑩ 小沢代表が辞意撤回

## 各師会の活動状況及び会員の消息

盛岡、北上、奥州、一関、大船渡、宮古、二戸

### 盛岡師会

総務部

今年の盛岡師会は新入会員に三浦義光さんと井口力さんの2名を迎え51名でスタートしました。県師会の会員数が104名ですから約半数を占めることとなります。

以下に盛岡師会の活動を記します。

- 4月15日 定例総会ならびに第1回役員会
- 4月22日 県総会に9名出席
- 4月23日 県保険部・組織強化主催研修会に17名出席
- 5月25日 テープ会報発行
- 8月 5日 第2回役員会
- 9月 2日 県「あはきの日記念事業」に5名出席
- 9月9、10日 東鍼連山形大会に3名出席。袖林氏臨床体験発表を行う。
- 9月14日 会長と千葉市議盛岡東警察署に無免許者取締り申し込みに出向く。
- 9月26日 千葉市議が市議会で無免許問題を質問したのを会長が傍聴に行く。
- 10月14日 県主催の学術研修会に13名出席
- 10月14、15日 日東医学会に4名出席
- 11月 3日 盲人ホームにてあはきボランティア（11名で53人施術）。
- 11月11日 西厨川老人福祉センターでマッサージボランティア（6人で 29名施術）。また、この日、第3回役員会。
- 12月 8日 忘年会
- 20年2月 第4回役員会予定

今年の盛岡師会は各行事への会員の参加が少し悪かったようです。来年はもっと多くの

皆さんの参加をお願い致します。参加し情報を交換し合い、技術を習得することは明日の治療院経営の糧となるはずです。

## 北上師会

高橋 隆

4月11日、ふるさと体験館にて定期総会を行いました。

会員一同つつがなく過ごしております。来年はもう少し良い年でありたいと思います。

## 奥州師会

総務

とどまるところを知らない、原油の高騰により灯油やガソリンは勿論のことそれに追随しての各種の値上がりが我々の生活を脅かしつつある。

国民一人ひとりが自分を守り、生き抜いていくことに必死になっており、それが各種犯罪や種々の偽装工作という形で現れてくる、まったく住みにくい世の中になってしまったものだ。

奥州市保健所では3年ほど前より5年に1度のわりで治療院や整骨院を回ることになった。今年度も12月から3月にかけて各50軒を回るとのこと、今まででは1名で回っていたが今年は2名ないし3名編成で回る。私の所は2月13日の午後訪れるという通知があった。保健所に開設届出を提出している所を回るよりも届けのない所を回って欲しいと思うのですが、看板の名称に「〇〇治療院」「××マッサージ」という記載がなければ、取締りの対象にならないらしい。もちろん何か事故でも起こし警察が動き出せば話は別である。

無免許、無資格者の施術料は高額である。しかし、それでも人々は足を運ぶなぜそうなのかを考える必要があるようだ。

### 本会の主な行事

4月 8日	定期総会開催
6月10日	第1回役員会開催

- 32 -

8月 9日	はり灸の日に地方新聞に広告を載せた
-------	-------------------

10月28日	第2回役員会開催
--------	----------

20年1月20日	新年会開催予定
----------	---------

3月 2日	第3回役員会開催予定
-------	------------

なお治療奉仕活動については他団体の事業と日にちの調整が、つかず現在のところ未定であり、インフルエンザの暴れ具合を見ながら実施を予定。

本会の小山田由起子さん(クーアハウス所長)が9月に開業した。「奥州治療院」と名称をつけ当面の間はクーアハウスと自らの治療院をかけもちすると云う。又、来春には同じくクーアハウス勤務の後藤順哉さんも開業の予定である。今の世の中、なかなか開業は難しいと云われてはいるが両氏の今後の健闘をお祈りしたい。

## 一関師会

師会長 千葉 謙一

本年の一関師会は、昨年と同じく9名でスタートしました。

無資格者対策は、昨年と同様に、行政に訴えてきましたが担当者が女性に代わり積極的には、動いてくれませんでした。

今では、無資格者対策は、傷口が広がり無資格者は、市民権を得たように、街の中心地において堂々と業を行っております。今、社会では、偽装問題が騒がれておりますがマッサージまがいの業を行っているものを何とかならないものでしょうか？

来年度は、いよいよ平泉世界文化遺産の登録の決まる年です。登録が決定すると県内観光客の増加につながり県内経済の活力も出るものと思います。私たちの業にもきっと反映されるものと期待しております。

以下に行事や活動をあげます。

- 4月15日(日) 19年度定期総会 福祉センター
- 6月10日(日) 1回慰問治療 福光園・関泉園
- 9月2日(日) 2回慰問治療 福光園・関泉園
- 9月23日(日) 第26回一関国際ハーフマラソン大会ボランティア  
北上師会長高橋さんのご協力をいただきました。

近年12名のご協力をいただくのに頭を悩ましております。

- 33 -

以上、報告といたします。

## 大船渡師会

会長 佐藤 明

### 〈活動報告〉

- 4月1日 大船渡師会定例総会開催(大船渡市 百樹屋(ももきや)) 8名出席
- 4月22日 岩手県師会通常総会(花巻温泉ホテル千秋閣) 2名出席
- 6月24日 特養老人ホーム高寿園(陸前高田市) マッサージ奉仕活動 9名出席
- 9月30日 (午後2時) 特養老人ホーム富美岡荘(大船渡市) マッサージ奉仕活動  
(午後3時30分) 第6回大船渡保健所職員の講演と懇談会  
(県立福祉の里センター) 各8名出席
- 12月9日 年末恒例忘年会(陸前高田市 松毬屋(まつかさや)) 8名出席

### 〈まとめ〉

大船渡師会平成19年度の活動は、無免許者対策の一環として、気仙ローカル紙である東海新報紙上に毎月2回の広告掲載を継続しています。これが「鍼灸マッサージ業」の市民への啓発と存在アピールになっていることは間違いありませんし、無免許業者の広告減少効果となっています。

二つ目は、6回目を数えた大船渡保健所職員との懇談会ですが、とても意義のある情報

交換になっていて継続させていきたいと思えます。

会員動向は、宮城県師会から1名の移籍があり10名となったことは明るい出来事です。今後も新しい仲間が加入できるような活動を取り入れていきたいと思えます。

課題として、老人ホーム以外の奉仕活動への取り組みを模索しています。

関係各位に一年間の感謝を申し上げ、新年度も何卒宜しくお願い致します。

- 34 -

## 宮古師会

小野 一茂

宮古師会は会員が少なくなり県からの事業計画があまりできません。ただボランティアの活動は行っています。

去年の冬は暖かい日が続いてよかったのですが今年は寒い日が多いので灯油代が大変にかかります、不景気の中で患者も少なくなり生活が大変になりました。

## 二戸師会

広報部

会報をご覧の皆様、または録音をお聴きの皆様いかがお過ごしでしょうか。今年もなんだかんだと気ぜわしく過ごしてまいりましたが会報を書く時期が来たことに気がつかないくらい毎日が過ぎていきます。

今年は気象もなんだかおかしくなったようで、夏は猛暑で記録が塗り替えられたり、11月としては観測史上記録的な雪が早々と降ったりとほんとうに世の中と同じくおかしな一年でした。本当に一年というものはこの年になりますと早いものですね。

さて、今年も約一年を振り返ってみますと本当にいろんなことが次から次と話題豊富な年でもありました。今何があったか想いだそうとしても一杯ありすぎて出てきません。と言うようにそれほどいろんなことがあったんです。

さて、今年は統一地方選挙とか・参議院選挙があり参議院選挙では野党が過半数を獲得して参議院で民主党が第一党になり衆議院との関係では反対となっております。さまざまな課題が国会で審議されなければならないのに九月には安倍総理が突然に途中で辞任したり・防衛省問題や・テロ特措法の期限切れとなったりと本当に大変です。

次に、今年は食の安全性が問われるような事件が多くあり・正味期限の偽装などとか・中身を偽装をしたりと言うようなことがありました。どちらかという中国の話かと想っていましたら日本でも行われていたなんて本当に信じられませんでした。

赤とか白とかと言うようにまるで赤白偽装合戦のようなことが起きました。

- 35 -

また、建築物の耐震偽装なども起きたりして本当にこの日本はこれで良いのかわからなくなりました。また、我々の生活に関係することでは原油の高騰でガソリンとか灯油などの値上げがされたり、その影響でさまざまなものが値上げされるというようにじわじわと

生活に影響が出てきています。

それだけでなく地方はまだまだ景気が良くなっていないのにこのようなことになれば再び景気が悪くなっていくのではないのでしょうか。

ほかにもたくさんの方の事件などもありこれからの日本がどうなっていくのか心配です。

このように書いていて明るい話題はなかったのかなあーと考えてみますと、メジャーでは松坂が活躍したり、日本では中日が53年ぶりの日本一となったりというようなことがありました。また、高校全国サッカー大会では盛岡商業高校が全国1位となる快挙を成し遂げられ岩手にとって明るい話題もありました。ぜひ来年は明るい話題が多くあればいいと思います。

さて、我々に関することでもいまだに無資格問題などが解決の糸が見つかっていません。そんな中でもどんどん大手の企業などがショッピングセンターなどに癒しとか言ってエステなどでリフレクソロジーなどを入れたりしています。名称は変えてもやっていることはマッサージのようなことを堂々とやっています。このようなことが我々にも今後かなり響いてくることでしょうか。果たしてこんなことで良いのでしょうか。

次に、二戸師会の近況と事業について報告いたします。

4月11日 定期総会開催。今回は、公益法人に関する説明や、会費値上げなどの件についてなどが論議されました。

4月22、23日 花巻温泉で行われた県総会と研修会に3名参加しました。

9月2日 鍼灸の日の事業として盛岡に於いて行われた奉仕に3名参加しました。

9月9、10日 東鍼連山形大会に2名参加しました。

9月30日 二戸駅隣のにやにゃーとメッセの中のイベントホールで行われたふれあい祭りの中でマッサージコーナーを担当し6名参加しました。

11月14日 二戸の特別養護老人ホーム（ワクワク荘）の中の（紅梅荘）に於いて4名で奉仕を行った。

毎年2月に行っております保健所長さんとの懇談会は20年2月に予定しております。

- 36 -

前回は、19年2月21日に二戸保健所におきまして行われました。内容は、所長さんの講演で演題は（メタボリックシンドローム）についてお話いただきました。

最後に、会員の近況ですが、若干体調を崩されたりした方はありましたが、現在は皆元気で仕事に励んでおります。ただ、今年初めに会員でもありました柴田公人さんが39歳という若さで亡くなりました。それだけでなく会員が少なくなっていくものですから大変残念に思います。ご冥福を祈ります。

と言うことで、今年もいろんなことがありましたが来年度は良いことがたくさんあることを願いつつこれで終わりとします。

## 編集後記

事業部長 山本 孝一

昨年は、穏やかに明けて美しい日本の夜明けかと思いましたが、偽装の年で連日のように、謝罪会見がありました。そして美しい日本を唱えていた安倍首相も退任しました。

今年は暮れから新年にかけて大雪が降り真っ白な年明けとなりました。去年のことは忘れて白からの出直しと云うことでしょうか。

会報40号点字、墨字、テープ版を発行します。総会の資料として頂きたいと思います。

- 37 -

## 後 付

社団法人 岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会  
平成19年度会報 第40号  
平成20年3月1日 発行

発行人 理事長 下佐 征昭  
〒020-0116 盛岡市箱清水1丁目36番5号  
電話 (019) 661-6277

編集責任 統括副理事長(事業部長) 山本 孝一  
〒028-6101 二戸市福岡字在府小路52-4  
電話 (0195) 23-3968

事務所(事務局) 〒020-0116 盛岡市箱清水1丁目36番5号  
理事長 下佐 征昭  
電話 (019) 661-6277

郵便振替 岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会 02360-9-19833

印刷所 沢倉印刷株式会社 二戸市福岡字城の外38番地  
電話 (0195) 23-3107

- 38 -



## 新商品

# ダイオード マッサージャー

(補瀉絶縁型・ダイオード入り)

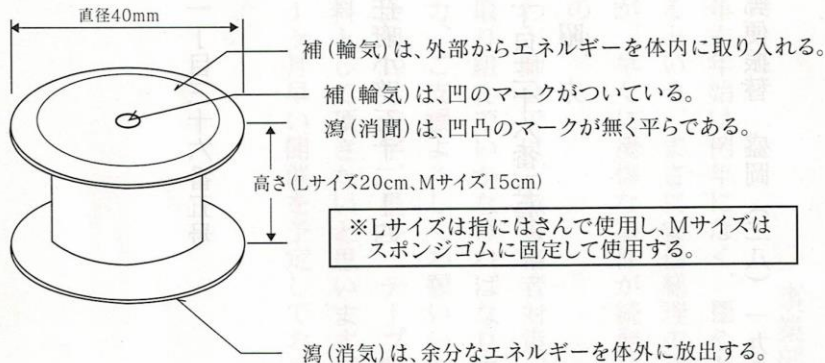
《痛み・こり・しびれ・筋肉痛など》

- 【特徴】**
- ☆コンパクトでシンプルな皮膚刺激療法。
  - ☆東洋医学的気血運行の平衡作用は、極性を有する物質に左右される。特に微小電流の過負荷に対応するダイオードの特性は、補瀉的調整の導入に欠かせない用具である。
  - ☆マジックベルト等で固定しながら他の治療も併用できる。
  - ☆人差し指と中指に挟んで、ツボ・経路・リンパに添って刺激をすることにより、更に効果が得られる。又、1～2日後に効用が出てくることもあります。

**《注意》 補瀉を反対に使用した場合、痛みを増すこともあります。**

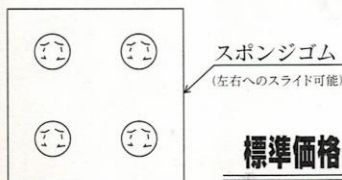
[例] 瀉(消気)で10～15分固定して痛みが増した時は、補(輸気)側にかえて使用すること。

### 斜面図(実物大)



**《注意》 以下に該当する方は使用出来ません。**

- ◎金属アレルギー体質の方
- ◎心臓の弱い方・ペースメーカーを装着している方
- ◎体内に金属板(ボルト)埋め込みの方



スポンジゴムに4個取り付けて患部に固定して使用できる。

(本体価格 ¥21,500)

### 【お問い合わせ】

青森県十和田市西四番町8-39

**有限会社 ヤマキン医療器**

TEL 0176-25-3666  
TEL・FAX兼 0176-23-9138